

## 927事業におけるゼロベースからの検証(全国初、2002年度実施)

### ゼロベースでの検証の結果 12億7,377万円削減

市のすべての事務事業927事業(535項目)についてゼロベースによる検証を行い、430事業を廃止、縮減、又は見直しました。[表1]平成13年度(7月以降)に行った経費削減のための検討項目やその実施状況、及び結果を報告します。

#### 927事業の「ゼロベースによる検証」(主な事業を見る)

##### 公用車委託業務の廃止 1,901万円削減

職員を活用することで、市長車、助役車、議長車の運転業務委託を廃止しました。

##### 一般職の5年間新規採用凍結と業務体制の効率化 約3億2,242万円削減(見込み)

業務体制の効率化を図ることで、今後5年間の新規職員採用を凍結します。

##### 組織改革による市民サービスの向上と効率化

社会環境の変化に対応し、市民にわかりやすい簡素で効率的な組織を構築し、市民主体の市政運営の転換を図るために、組織改革を実施しました。

##### 総合発注室の設置と発注方法の改善

工事の発注や業務委託あるいは消耗品、備品の購入などを一括管理することにより、発注手法転換による経費の節減や、市内小規模事業者への受注の拡大、計画的発注による無駄の排除とコスト削減を図るため、「総合発注室」を新設しました。

##### 情報システム(IT)の検証と改善

市民委員会IT部会から提出された検証報告書を参考に、既存の情報システム関連経費の削減を緊急課題としてとらえ、問題解決に取り組んでいます。

##### 事務服の廃止 74万円削減

職員の事務服を廃止しました。

##### 各種特例債などの活用

地方債(借金)の中には、その借入金額や償還金が、国から支給される地方交付税の積算の基礎になっていることから、今後もこうした有利な地方債の活用を図っていきます。

(注)「927事業のゼロベースでの検証」以外の検討項目・報告結果も掲載してあります。また、すべての「927事業のゼロベースでの検証」の各事業削減額は掲載していませんので、各項目の削減額を合計しても一致しません。

##### 職員手当の廃止等 4,265万円削減(期末手当・給与の削減)、465万円削減(日当の廃止)

日当(出張手当)を廃止しました。

特別職及び一般職の期末手当と、特別職の給与を削減しました。

##### 学童保育室(宗岡四小)の設置に伴う教育サービスセンターの移設 1,316万円削減(新設し

### た場合と比較)

宗岡四小内の教育サービスセンターを市民総合センターに移設し、その施設を活用することにより、少ない費用で、学童保育室を設置することができました。

#### **(財)志木市文化スポーツ振興公社の見直し 7,663 万円削減**

婚礼業務を廃止するとともに、自主事業の見直しや、文化施設に派遣していた市職員5人を市に引き上げました。

#### **複合施設の見直しと改善 4,680 万円削減**

(仮称)志木小学校等複合施設における設計変更、及び設備の見直しと改善を行いました。

#### **市有バスの「効率化と市民活動への活用」**

市の主催業務だけに活用していた市有バスを排ガス規制の対象となることから処分し、市民団体の公共的活動にも活用できる民間バスの借り上げを行うことにしました。

#### **訪問看護ステーションの市民病院への移管 2,521 万円削減**

市民病院に、訪問看護ステーション機能を移管することにより、医療との連携を深め、更に事務については、病院の職員が兼務をするなど効率的な運営を図っていきます。

#### **委託業務の改善 1 億 3,908 万円削減**

委託業務内容を必要最小限に縮小し、庁舎清掃など委託業務の一部を職員が行っていきま